

引き続き安全運転への意識を 交通死亡事故ゼロ1000日に

2月20日、町が岩手県交通安全対策協議会（達増拓也会長）から「交通死亡事故ゼロ日継続市町村表彰」を受けました。これは、町内での交通死亡事故が1000日間無かったことに対する表彰で、本町では、平成28年5月25日に豊間根地区で発生した交通死亡事故以降、死亡事故ゼロ日を継続しています。佐藤町長は「これは一つの通過点。これからも町民一丸となって努力したい」と、さらなる交通安全を誓いました。これまでの本町における最高継続日数は、平成21年9月から25年10月までの1491日です。



地元で働く人を講師に 職業への理解を深める

2月14日、山田高校（及川研一校長）の1、2年生78人を対象として職業出前講座が行われました。これは、地元で働く人を講師に迎え、地域の企業のことを知り、進路選択や就職への意欲を高めるために開催。生徒は、講師の先生が話したことを熱心に聞きメモを取り、目の前で実演される仕事の様子を見て、将来働くために必要なことを学んでいました。川崎結愛さん（2年）は「仕事をする上でコミュニケーションが大切なことを知りました」と理解を深めていました。

山田の食材でアレンジ 家庭料理で文化交流

2月1日、まちなか交流センターで「山田町の食材を活用したオランダ料理教室」が行われました。これは、2020年東京五輪・パラリンピックの復興「ありがとう」ホストタウンの一環で行われたものです。当日は、午前午後と二部開催し、午前の部には町民25人が参加しました。料理には、オランダの家庭で親しまれている料理に山田の食材を入れアレンジしたものが3品作られました。また午後には、オランダハウスにて子どもたちに提供され、美味しく食べていました。



今年1年の健康を祈願 山田八幡宮で節分祭

2月3日、山田八幡宮で節分祭が行われました。これは、邪気をはらい福を招いて、子どもたちの今年1年の健康を祈願するために毎年行われているものです。当日は、袋を持った多くの子どもたちが集まり、境内を埋めつくすほどの賑わい。祭りでは八幡大神楽の舞の後、豆とお菓子、紅白餅がまかれました。紅色の餅には景品が当たるくじが入っていて、訪れた人たちは空に向かって手を伸ばしました。袋をいっぱいにした子どもらは「結構取れて楽しかった」と喜んでいました。



町のわだい

今月の題字 穀田 磨耶さん（織笠小1年）



劇団ゆう「ピーターパン」上演 本町の子供たちが熱演

2月3日、特定非営利活動法人劇団ゆうが主催するキッズミュージカル「ピーターパン」が行われました。沿岸部の芸術文化活動の支援を目的に行われているこの事業。本町での公演は今回で8回目となり、毎年開催が楽しみにされています。一般的なミュージカルと違うところは本町の子供たちも出演できるということ。約1カ月前から歌や踊りの稽古に励み、見事に熱演しました。会場となった町中央公民館大ホールには、約600人の観客が詰めかけ、迫力ある歌や踊りを楽しんだほか、子どもたちが演じる様子に目を細めていました。



大沢小児童考案のトンネル名 銘板お披露目会で笑顔

2月15日、大沢小学校（及川輝美校長）で「海よ光れ大沢トンネル」の銘板お披露目会が行われました。この銘板は、重茂半島を周回する「主要地方道重茂半島線大沢―浜川目間」の、国道45号側入口付近のトンネルに設置されます。トンネルの名付け親は同校6年生16人。鋳物の銘板は、児童が習字で書いたものを写して作成されました。字が採用されたうちの一人、6年の佐々木晴稀君は「僕たちの命を守る道路。これから大切に利用していきます」と、工事関係者らに感謝を伝えました。同区間は、来年度中に開通する予定です。

